

建築家・隈氏と新庁舎を考える市民ワークショップ 結果概要

【目的】

新庁舎の市民ゾーン（市民交流スペース及び市民公園）について、市民が求める空間や機能を皆で一緒に考え、様々な立場の方が考える「市民が行きたくなる庁舎空間」のアイデアを参加者や設計者と共有し、今後の検討の参考とします。

また、ワークショップに市民が参加することにより、新庁舎建設や那須塩原駅周辺まちづくりに関心をもっていただくきっかけとします。

【開催日程】

日時：令和5年12月16日（土）
 10時～12時30分（2時間30分）
 会場：東那須野公民館 多目的室



【当日参加者】

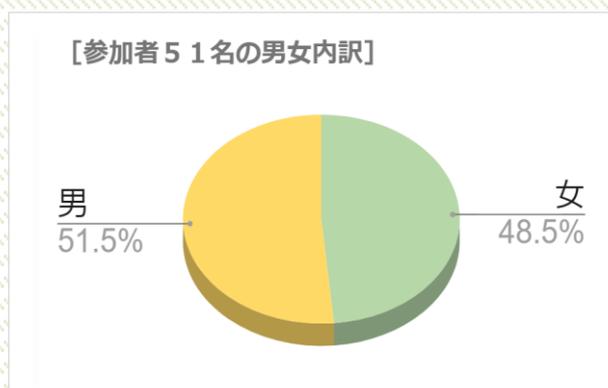
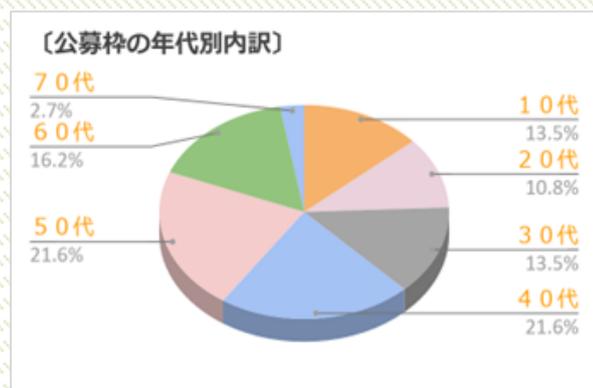
幅広い年代や活動分野の方から意見をいただくために、公募枠と市内各種団体からの推薦枠にて参加者を募りました。募集を行ったところ、想定を超える申し込みがあり、公募枠37名、各種団体14名、計51名の市民に参加いただきました。

公募枠の年代別内訳（計37名）

| 公募枠 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 5人 | 4人 | 5人 | 8人 | 8人 | 6人 | 1人 |

市内各種団体一覧（計18団体）※うち4団体は欠席

| | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 自治会長連絡協議会 | 地域婦人会連絡協議会 | 民生委員・児童委員協議会連合会 |
| 地域自立支援協議会 当事者部会 | NPO 法人子育てほっとねっと | 那須塩原市PTA 連絡協議会 |
| 東那須野地区ふれあい推進協議会 | 黒磯那須青年会議所 | 那須野が原青年会議所 |
| 那須塩原市商工会 | 西那須野商工会 | 黒磯観光協会 |
| 西那須野観光協会 | NPO 法人塩原温泉観光協会 | 駅前広場運営協議会 |
| 那須塩原市文化協会 | 那須塩原市国際交流協会 | 市民活動センター |



小学生から70代まで、幅広い年代の方に御参加いただき、和やかな雰囲気の中ワークショップを行いました。



◆参加者（運営含む）78名

内訳：公募枠37名 各種団体14名 進行・助手2名 市7名 安井・隈設計共同体9名 日建コンストラクションマネジメント2名 班ファシリテーター7名

市民ワークショップ報告書

～隈先生と一緒に新庁舎をつくるプロジェクトの、第一歩！～

【これまでの経過と市の方針等を説明】

事務局より概要を説明

【技術提案内容の説明】

安井・隈設計共同体 隈研吾氏より、那須塩原の地域特性を織り交ぜながら、新しい市役所のコンセプトの説明があり、参加者でイメージを膨らませました。



【市民ワークショップ】

進行：宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏

助手：宇都宮大学 地域デザイン科学部 鈴木 ちなつ 氏

◆グループワークのテーマについて

テーマ 『みんなが集まりたくなる未来の市役所を考えてみよう』

今回の提案の大きなコンセプトは「市民公園」。新庁舎には、行政機能がある「市役所ゾーン」と市民が日常使用する「市民ゾーン」があります。今後、設計者が基本設計を進めていきますが、特に「市民ゾーン」については、普段利用する市民が、使いたくなるような空間であることが重要です。

そこで、市民ゾーンに注目し、新しい市役所に「どんなものがあたらよいか」「どんな機能や空間があたらよいか」を皆で話し合い、想いを共有しました。



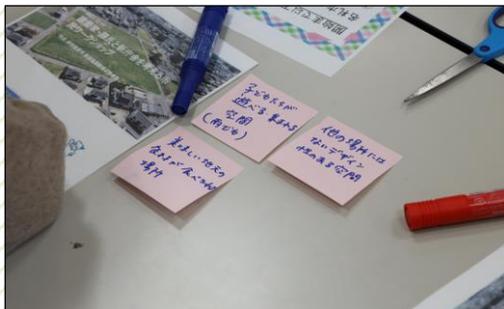
◆ ワークショップにあたって、隈先生からひとこと
自分の日常の感覚で「いいなあ」と感じることを日常の言葉で語っていただくのが一番良いと思っています。皆さんのアイデアを楽しみにしています。

◆グループワークの概要

『グループごとに、未来の市役所の設計書を作ってみよう』

① アイディアの書き出し

参加者は5人程度のグループに分かれ、メインテーマに沿ってアイディアを出し、箋紙に書いて貼り出しました。付箋のアイディアはグループ内のメンバーで共有します。



② 各グループのテーマを設定

アイディアの中から特に大切だと思うこと、一押しアイディアを出し合い、『集まりたくなる庁舎』のテーマを決めていきました。(例：市民と観光客が集う市役所、誰でも気軽に来られる市役所、子どもが来たくなる市役所など)



③ 「市民ゾーンの設計書」の作成

パズルピース(例：カフェ、テラス、売店など)を使い、グループごとのテーマに沿った新庁舎となるよう、「市民ゾーンの設計図」を作っていきます。ピースがなければ、白紙のピースに書き込んだり(例：疏水、滑り台)、直接パネルに書き込むなどして、自由にアイディアを出します。

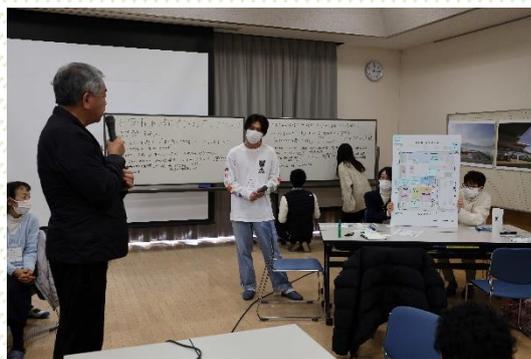


④ 全グループによる発表と講評

1グループ1分で、これまで話してきた一押しのアディアや盛り上がった内容を発表し、参加者で共有しました。



各グループの発表と隈先生のコメントに熱心に耳を傾けます。どの意見も平等に取り扱えるよう、全グループの発表内容やコメントはホワイトボードに書き留めて、可視化・共有化しました。ホワイトボードへの板書も、会場にいるメンバーで協力しあっています。



各グループの設計図

Aグループの発表内容

「明るい、歩きたい、ファミリーと遊びたい」

- キーワードの中でもカラフルなステンドグラスが室内のどこかがあるとよい。
- 「みるる」のように本コーナーやブックトラックが欲しい。
- 市民広場の一角にシンボルツリーが欲しい。夏には短冊を飾ってみんなで楽しみたい。
- 芝生にモニュメントを置いて、散歩ができるようにしたい。
- ステージの前の広場の両サイドになだらかな階段を作って座りたい。

隈先生からのコメント

小学5年生と6年生の発表だったが、具体的で参考になる話だった。階段はとても大事になってくる。座れる階段のアイデアはいいね。シンボルツリーを植えるというのも良い。



Cグループの発表内容

3つのテーマについて話しあった。

- ・那須塩原市は冬が厳しくなかなか公園に出かけにくいので、室内公園があるとよい。室内で体を動かせる公園。
- ・その隣に、那須の食材を取り扱った子ども食堂。地元の有名店が短期で出店して知られざる那須として紹介する。
- ・ウォークابلとの説明があったが、駅からぐるっと敷地を回って1キロくらいのコースがあると楽しいと思った。体力づくりにもなる。

隈先生からのコメント

これから子ども食堂はどんどん広がっていく。子ども食堂はおもしろいテーマだと思う。



Dグループの発表内容

「行政サービスがなくても立ち寄れる、ウォークブルな路地空間」

- 広大な土地で建物と建物の間を楽しみながら立ち寄れる場所。
- 昔、子どもは路地で遊んだりしたが、今はそういうことができないので、そんな全世代が共通して空間を楽しみたいと考えた。

隈先生からのコメント

隙間をどう使うかというのは、僕たちも目指している部分だったりします。



Eグループの発表内容

- ・屋内に巻き狩り鍋を展示したい。
- ・広場のイベントスペースに、牛柄のトイレを設置したい。駅前にあるポストと同じような牛柄のイメージ。

隈先生からのコメント

牛柄が壁面に書いてあるトイレは面白いですね。



Fグループの発表内容

「集える場所がある」

- 図書館やフードコートがあるとよい。
- ホールでイベントが出来たり、イベントがないときは学生が勉強できる。フードコートは障害をもった方が出店できるチャンス。
- 子どもがおなかすいたら、フードコートや売店で食べものを買って原っぱで食べたい。
- 建物の素材は温かみがある木材。
- 車椅子が動かしやすい床の素材も使ってほしい。

隈先生からのコメント

フードコートのアイディアはとても素敵だと思った。今回の市役所では、「食べること」が重要で、他にはない那須塩原らしさだと思う。カフェやフードコートの設えや運営方法を皆で考えていきたい。

バリアフリーもただフラットなだけでなく、素材も関係していくということ。その辺の細かい設計もこれからやっていきたい。



Gグループの発表内容

- カフェで買ったものを飲んだり食べたりしながら入れる足湯カフェ。
- 常設は難しいが出張で乳牛と触れ合える場所。

隈先生からのコメント

動物は感染の問題をうまく避けながら、常設は難しいけどイベント的にやるなら、他にないし、できそうな気がする。



Hグループの発表内容

「那須の良さを伝えるために子どもから大人までが集える場所」
年代別にピントを当てて考えてみた。

- ・子ども：キッズスペース（雨天時でも遊べる）
- ・学生：勉強できる場所やコワーキングスペース
- ・高齢者：散歩道 階段の上り下りが大変なので、駅から続く空中階段
- ・那須塩原市の乳製品を売れる場所、蛇口から牛乳

隈先生からのコメント

子どもが「市役所行きたい！」ということになったら素敵なこと。中も外も含めてキッズの場所は重要になってくる。リモートで仕事や勉強ができるスペースも同様。図書館が欲しいとの意見もあったので、そのあたりとどう組み合わせるかが設計の重要なポイントになってきそう。本の管理も含めて皆さんで考えたい。

進行「本があると、居やすくなるというのがありますね。今日のメンバーで青空図書館をやっ
てらっしゃる方がいます。本に関していかがですか？」⇒「みるる」というとても良い図書館が
できた。ただ、市の中央にはない。「みるる」が官でやるなら、市役所の中は民の力で関わりが
持てたらよいのではないか。



Jグループの発表内容

「安心して来られる市役所」

- ・グループに視覚障がい者の方がいらっしゃったことから、庁舎にたどり着くまでに安心して辿りつけることが大切と考えた。自転車レーンと歩行者レーンの分離。庁舎にたどり着くまでの音声ガイド。
- ・キッズルームの充実。子どもが増えれば人口も増えると思ったので広くしてみた。
- ・カルチャースペース、アートのスペース。市民が先生になって市民に教える。写真展を個人で持ち寄れる。テラスは耐久性のある大谷石。
- ・子育てに力を入れるのは大切、那須塩原市は子育てには理想的な環境とおもうので、市役所にそれをアピールできる場所があるとよい。

隈先生からのコメント

視覚の問題は、僕達から想像できない色のちょっとしたところで見やすくなったり見にくくなったりするので、丁寧に検討していきたい。自転車との分離なども御指摘ありがとうございました。よく考えるようにします。



Kグループの発表内容

「様々な人が気楽に来られるような場所」

- ・市民公園ということで、季節の木々を植え、自然を楽しめる庁舎。
- ・一般の方が販売できるロッカー販売スペース。
- ・市は夏野菜や牛乳などが有名なので、これまで以上にPRできたらよい。

隈先生からのコメント

植栽の話も大変重要。これから建築と同時に外構計画植栽計画を進めていく。植栽の事務所は日本で1・2番の事務所が入っている。植栽の季節感は大事なので、その辺もよく考えながら、ここにしかない素敵な庭にできたら。ここまでふんだんに緑が植えられる広い市役所を建てるのは初めてなので、非常にやりがいを感じている。



ワークショップを終えて — お二人から講評をいただきました —

隈先生からの講評

2時間半という短い時間で、皆さんには想像以上に深く考えていただいた。また、皆さんが市役所に寄せる期待の高さを感じた。

市役所は英語で言うと「シティホール」という。日本で市役所というと役所・行政の手続きをしに行くところというイメージだが、欧米では元々教会の前の大きな広場に面してシティホールがあった。そこではレストランがあったり、結婚식을挙げたりするなど、日常の居間の延長で使う場所だった。

多分皆さんが望んでいるのも、自分たちの場所として使えて、皆が使いやすく、子どもからお年寄りまで開かれた空間ということだとわかった。

また、短い発表時間で心配していたが、すべてのグループともわかりやすく発表していただいた。このアイデアをこれからの設計に反映して、これからみなさんと一緒に市役所を作っていけたら最高だと思っている。



石井先生からの講評

隈先生から、これからみなさんと作っていきたいとの話をいただいた。今日の大きな目的はその1歩目になること。

副市長から、こんなにたくさんの方が集まるワークショップは初めてとの話があった。プランやアイデアの話もしましたが、今日は、ここに参加している仲間と「初めて」の場を共有できたのでは。

これから、2歩目、3歩目も仲間となって一緒に作っていき、作ったあとも、すべて行政に任せるのではなく、利用や管理についても自分たちで考えていけるような機会を持てれば、と感じた。



最後に参加者の皆さんで記念撮影をしました。ご参加いただきありがとうございました。今日が、隈先生と一緒に新庁舎をつくるプロジェクトの、第一歩です！

市民ゾーンの 空間デザインのイメージ

・ 枠の囲みは、市民ワークショップでいただいた声の一部です。いただいたご意見を参考にしながら、駅周辺まちづくりにおける市役所（市民ゾーン）の役割を整理しながら、基本設計・実施設計を進めていきます。

■インクルーシブ
 ・ 子どもが安心して遊べる
 ・ 高齢者の居場所
 ・ 障害者の働く場所

■本を読んだり、勉強をしたい
 ・ リモートワークスペース
 ・ コワーキングスペース
 ・ 本を媒体すると、人が居やすくなる
 ・ 今は駅で勉強しているので、学生が庁舎で勉強出来たらよい

■知的な楽しみを見出させる場所
 ・ 市民が出品できるロッカースペース
 ・ ミーティングルーム
 ・ 本を媒体すると、人が居やすくなる
 ・ カルチャースペース、アートのスペースで市民同士が学びあう

■観光客も楽しめる場所
 ・ 観光とつながるような集客力のあるイベントスペース
 ・ 那須塩原の特性の表現（食・資源）

■市民公園で歩きたい
 ・ ウォークアブルの観点から、駅から敷地を歩けるコースがあると楽しいと思った
 ・ 敷地内を散歩できる広場
 ・ 芝生にモニュメントを置くなどして、楽しみながら散歩したい

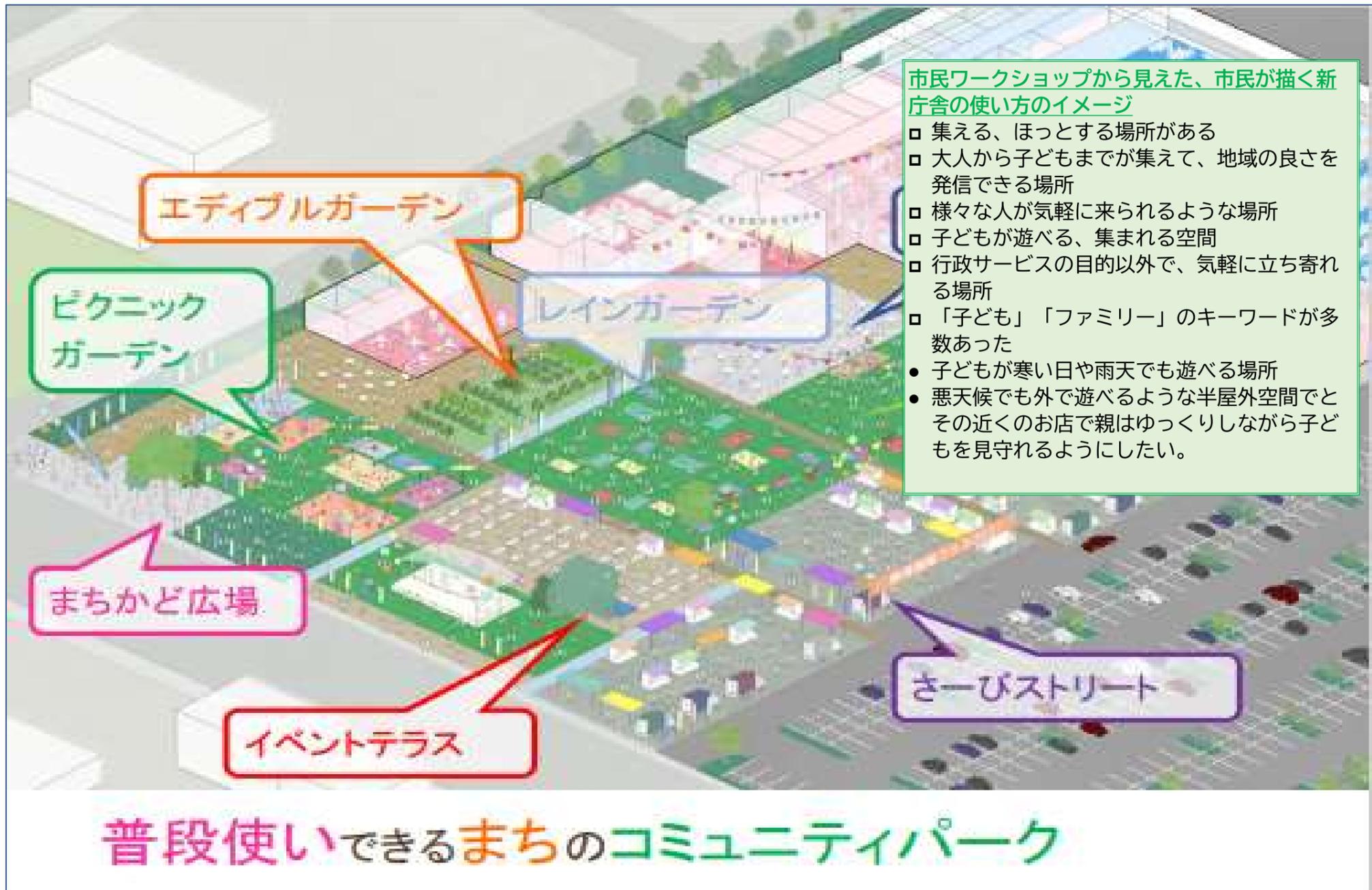
■地元の美味しい食材を楽しむ場所
 ・ 地域の食材を取扱った子ども食堂
 ・ 地元の有名店が短期間で出品し、地域の魅力を発信
 ・ 新鮮な野菜、果物、ミルクソフトクリームなどを置いた物産店
 ・ 那須塩原市の乳製品を販売する場所
 ・ 夏野菜や牛乳を市外にPRできる場所

■自然を楽しむ
 ・ 季節感を味わえる様々な植栽
 ・ シンボルツリーをおきたい

■楽しい広場の使い方
 ・ スポーツや体操をしたい
 ・ 子どもはおながすいたら、フードコートや売店で食べ物を買って、原っぱで食べたい
 ・ ファミリーでピクニックをしたい

■防災の拠点
 ・ 防災訓練ができる場所
 ・ 災害時の避難拠点

■イベント使い
 ・ ホールやステージでイベントやコンサートがしたい
 ・ 乳牛と触れ合えるイベントがしたい



※このイラストは、技術提案書から抜粋したものです。